

# 御所湖随想

H22年7月 No.10

## 雷と気象現象

最近、毎日のように雷注意報が発令されています。雷ってなんなんでしょうね。ぴかぴかっと光る放電現象なんでしょうけど。上空に冷たい空気が流れ込むとそこにあった暖かい空気とぶつかって、摩擦が生じその結果電気が発生し、溜まりに溜まって放電する。それが雷だと説明されれば、「はぁ、そうですか」とうなずきますが、「雷こわい!!」という人には「それがどうした!?!」「そんなの関係ねえ!」ということでしょうね。

遠くで、ゴロゴロ鳴っている分には、安心と思いきや、雷は瞬時にして200Kmも移動するそうですから簡単に安心してもらっては困ります。注意報が出て、ゴロゴロが聞こえたら何はともあれ避難するのが最も賢明なことなのでしょうね。しかし、山の上で雷にあったらどうするんでしょうか。逃げる所なんてない。高い山では上からばかりでなく、下からも横からもきます。時計やピッケルなどの金属がビリビリした経験をもつ山男、山女の話聞いた事もあります。山では逃げる場所はないと何もせずに突っ立っているのは愚の骨頂。何はともあれ、金目の物は放り投げ(後で見つけれられるように)身を低くしてひたすら雷の通り過ぎるのを待つ。そばにハイマツがあればラッキー。その中に潜り込むのが最も安全と私は信じています。

雷が怖い人には何を言っても怖い。避けようのない突発的な現象で何もなのまま過ぎるのを待つしかない。せつないですが・・・

話変わって、先日おもしろい気象現象を見ました。



内暈(ないうん)と外暈(がいうん)と  
思われますが、暈は「かさ」とも読みます  
ので平たく言うとヒガサが二重に見えた  
という事なのでしょうね。彩雲という現象と  
よく似ていますが、専門的にはよくわから  
ないので、ただすごいなぁという感想です。

この現象は、ちょうど自然観察会を解散しようとする12時過ぎに現れました。晴れて暑い陽射しがあつたのですが、この時だけ薄雲がかかっていました。この会に参加した人たちは超ラッキーな人たちだったのでしょう。

